

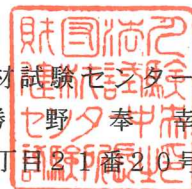


受付第06A0234号
受付日：平成18年 4月18日

品質性能試験報告書

試験結果は以下のとおりであることを証明する。
平成18年 8月30日

財団法人 建材試験センター
中央試験所長 勝野 幸
埼玉県草加市稲荷5丁目2番20号



試験名称	木造建築用座金付ボルトのめり込み試験
依頼者	会社名：株式会社 タナカ住宅資材事業部 所在地：茨城県土浦市大畑702-1
試験体 (依頼者 提出資料)	1. 接合具 商品名：丸座金付ボルトM16 寸法：座金部；外径58mm，厚さ6mm ボルト部；長さ550mm(ねじ部M16) 板部にボルトを溶接接合したもの(図-3参照) 材質：座金部；SPHC(JIS G 3131) ボルト部；SWRM 10(JIS G 3505) 表面処理：Ep-Fe/Zn 5/CM 2(JIS H 8610及びJIS H 8625) 2. 使用軸組 樹種；すぎ，寸法；105×105mm 3. 試験体数 7体(うち1体予備試験体) 参照：図-1～図-3(試験体の形状・寸法)
試験方法	木造軸組工法住宅の許容応力度設計(監修：国土交通省住宅局建築指導課・木造住宅振興室，企画編集・発行：財団法人日本住宅・木材技術センター)の2章「木造軸組工法住宅の各部要素の試験方法及び評価方法」に準じて行った。その詳細を表-1に示す。
試験結果	耐力算定の基礎資料及び荷重-変位包絡線：表-2及び図-4 一定変位時の荷重及び荷重-変位包絡線：表-3及び図-5 荷重-変位曲線：図-6 破壊状況：写真-1～写真-6
試験期間	平成18年 7月12日
担当者	構造グループ 試験監督者 川 上 修 試験責任者 赤 城 立 也 試験実施者 赤 城 立 也 室 星 啓 和 早 崎 洋 一
試験場所	中央試験所

表-2 耐力算定のための基礎資料

試験体		加力方法	降伏時		2/3Pmax時		Pmax時		破壊状況
			荷重 (Py) kN	変位 (δy) mm	荷重 kN	変位 mm	荷重 kN	変位 mm	
記号	番号								
MZ	0	単調	26.1	8.9	31.5	12.9	47.3	30.0	座金のめり込み後、軸組材の割れ
	1	一方向 繰返し	24.3	7.7	28.9	10.7	43.4	29.0	座金のめり込み後、軸組材の割れ
	2		20.1	6.6	29.3	13.0	44.0	29.3	座金のめり込み後、軸組材の割れ
	3		24.6	7.4	30.5	11.7	45.7	30.0	座金のめり込み後、軸組材の割れ
	4		21.8	7.0	27.3	10.8	40.9	30.0	座金のめり込み後、軸組材の割れ
	5		26.7	9.3	30.5	11.0	45.7	30.0	座金のめり込み後、軸組材の割れ
	6		21.2	5.3	28.2	10.1	42.3	30.0	座金のめり込み後、軸組材の割れ
	平均		23.1	7.2	29.1	11.2	43.7	29.7	
	標準偏差		2.49	1.32	1.27	1.01	1.90	0.45	
	変動係数		0.108		0.044				
	ばらつき係数		0.748		0.897				
	短期基準耐力 (Po) kN		17.3		26.1				

(注) 1. 短期基準耐力 (Po) は、降伏耐力Py又は2/3Pmaxの平均値に、それぞれのばらつき係数を乗じて算出した値のうち小さい方とし、□に示した値である。

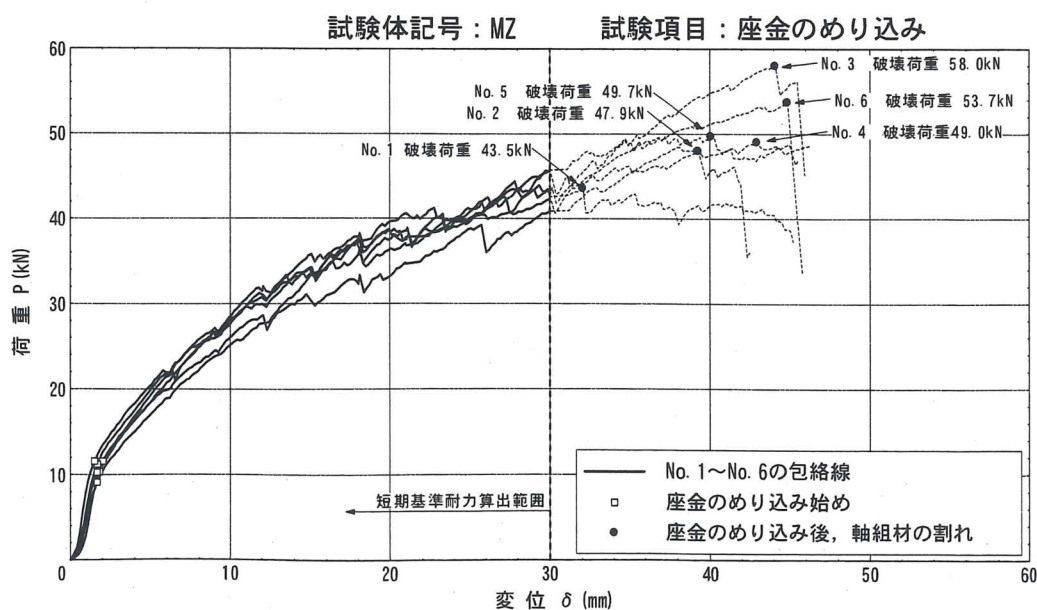


図-4 荷重 - 変位 包絡線の比較